図書紹介・New Publications

魚類学雑誌
43(1): 109-110

□ 魚類学一般

Otolith Atlas of Southern African Marine Fishes. —N. J. Smale, G. Watson and T. Hecht. 1995. Ichthyological Monographs, No. 1. J. L. B. Smith Institute of Ichthyology, Grahamastown, South Africa. xiv+253 pp., 149 pls. ISBN 0-86810-294-6. 南アフリカに出現する魚類の耳石を電子顕微鏡写真で示し，各科の耳石の説明，耳石による種の検索表が付いている．本書の目的は胃内容物中の耳石や遺跡から出土する耳石の同定であるが，同時に，著者は本書に示された情報が系統分類学にも役立つであろうと示唆している． (KM)

□ 系統学

Molecular Systematics, 2nd ed. —David M. Hillis, Craig Moritz and Barbara K. Mable. 1996. Sinauer Associates, Sunderland, Massachusetts, USA. xvi+655 pp. ISBN 0-87893-282-8. 分子系統学のバイブルでもあった本書の第1版を大幅に改訂したもの．内容は次の3部に大きく分かれる（カッコ内は各章の略題）．第1部：サンプリング（プロジェクトデザイン・組織サンプルの収集と保存）．第2部：分子生物学の手法（タンパク質・染色体・DNA交雑法・PCR・制限酵素切断法・シークエンスとクローニング）．第3部：解析（種内変異・系統推定・分子系統学の応用）．系統学に関心をもつ人の必読書． (MM)

分子系統学. —長谷川政美・岸野洋久．1996．岩波書店，東京．x+257 pp. ISBN 4-00-005938-6. 4000円．分子系統学の理論と実際を，とくに最尤法を重点に論じた本．分子進化と系統樹，分子進化の統計モデル，系統樹の推定，ヒトの起源，脊椎動物の系統進化，生物の初期進化と真核生物の起源等の章からなる． (MM)

□ 生態学

魚類の繁殖戦略　1. —桑村哲生・中島康裕（編）．海游舎，東京．viii+196 pp. ISBN-905930-71-5. 2215円（税込）．行動生態学の理論に基づき，魚類の繁殖戦略のさまざまな側面を解説し，日本における最近の研究の具体例を紹介．魚類の繁殖戦略入門（桑村哲生），アユの生活史戦略と繁殖（井口恵一朗），魚類における性淘汰（狩野賢司），非血縁個体による子の保護の進化（宗原弘幸）の4章からなる． (KM)

□ 仔稚魚

The Early Stages of Fishes in the California Current Region. —H. Geoffrey Moser, ed. 1996. CALCOFI Atlas No. 33, California Cooperative Oceanic Fisheries Investigations, USA. xii+1505 pp. ISBN 0-935868-82-8. 東部太平洋カリフォルニア沖の仔稚魚の情報を集大成した本である．多数の著者がそれぞれの分類群について詳しく記載している． (KM)

Survival Strategies in Early Life Stages of Marine Resources. —Y. Watanabe, Y. Yamashita and Y. Oozeki, eds. 1996. A. A. Balkema, Rotterdam, Netherlands. ix+367 pp. ISBN 90 5410 637 9. 1989年から農林水産省によって推進されてきたBIOCOSMOS研究の中間とりまとめとして，1994年に横浜でワークショップが開催された．本書はそこで発表された研究成果をまとめた論文集．雌親の状態がどのように卵の性質に影響するか，仔稚魚の生残はどのように決まるか，卵と仔稚魚の移動はどのように行われるか等，27篇の論文が収録されている． (KM)

□ その他

バイオディバーシティ・シリーズ 1. 生物の種多様性. —岩槻邦夫・馬渡峻輔（編）．1996．裳華房，東京．xiii+342 pp. ISBN 4-7853-5824-6. 4120円（税込）．著者は16人．内容は分類学，系統学，比較形態学，比較細胞学，古生物学，種分化など広い範囲に渡る．最近の情報が手際よくまとめられている． (KM)

Towards Stability in the Names of Animals. A History of the International Commission on Zoological Nomenclature. —Richard V. Melville. 1995.

International Trust for Zoological Nomenclature, London, UK. xii+92 pp. ISBN 0 85301 005 6. 国際動物命名法審議会設立100年記念事業として出版された本．1843年のStrickland Code以後のCodeの変遷，学名の安定のためにどのような取り組みがなされてきたかが詳しく述べられている．学名安定化のために本審議会が行ってきたことは，必要であるにもかかわらず，決して「人をうならせたり」，「目立つ」ことではないため，余りにも過小評価されていると著者は述べている．入手を希望する人はThe Natural History Museum, Cromwell Road, London SW7 5BD, UKに連絡すること． (KM)

21世紀の海藻資源—生態機構と利用の可能性．— 大野正夫（編著）．1996．水産学叢書2．緑書房，東京．260 pp．3800円（税込）．ISBN 4-89531-203-8．海藻の生態や用途に関する最近の幅広い情報を16名の専門家がやさしく解説した啓蒙書．それぞれの研究成果を中心に述べられており，14章からなる．魚類学を専攻する者にとっても，1章　藻場（寺脇利信），2章　流れ藻と寄り藻（新井章吾），3章　磯焼け（藤田大介），9章　飼料に利用される海藻（中川平介）などが有益である． （落合　明）

会員通信・News & Comments

魚類学雑誌
43(2): 110–112

阿部宗明先生のご逝去を悼む
Memories of Dr. Tokiharu Abe (1911–1996)

阿部宗明（あべ　ときはる）先生は1996年8月9日脳出血により東京都中野区の病院で急逝されました（享年85才）．先生の最期が安らかであったことは，他人に迷惑をかけることを一番気にしておられた先生にとって，せめてもの慰めであったと思います．

先生は皆様もご存じのように，フグやトビウオの研究で知られ，多くの論文を残されました．先生は日本魚類学会の前身とも言える「魚の会」の創立メンバー，日本魚類学会の創立メンバーとして，また，1970–1972，1978–1980年，日本魚類学会の会長として日本の魚類学の発展に大変貢献されました．これらのことから，1990年，当学会の名誉会員に推挙承認されました．ロンドンのリンネ協会会員，アメリカ魚類・爬虫両生類学会の外国人名誉会員としても活躍されました．

先生は魚類学の普及を意図した雑誌「魚」(Nos. 1–43, 1948–1995)の編集，とくに第6号からは殆ど独力で「魚」の刊行を続けられました．魚類学雑誌 (Vols. 1–43+, 1950–1996+)についても第1–14巻の編集幹事として活躍されました．また，先生は

阿部宗明先生（1980年代）．

50年の長きにわたり殆ど毎日，築地の魚市場に通われ，珍しい魚をチェックされ，「新顔の魚」シリーズ (Nos. 1–25, 1970–1995)を発行，約200種の魚を紹介し，料理の素材としての魚の開拓，普及に尽力されました．このことが，後に，築地魚市場の「おさかな普及センター資料館」の設立に発展しました．これら以外にも，伊藤魚学研究振興財団の常務理事 (1971–1996)，藤原ナチュラルヒストリー振興財団の理事長 (1992–1996)として国内の魚類学の研究者はもとより，多くの外国の魚類学者の研究を支援されました．

先生はスリムな体で飄々と歩かれ，口数が多い